

「中津人の力」

中津市長 奥塚 正典

モノづくり産業が国内ではなく外国に工場をつくり、産業が空洞化すると言われて久しい。最近、ある立地企業の社長から次のようなうれしい話を聞きました。

「外国で造ると、労務費が安いので原価が安く利益率が高かった。ところが、最近は中国、東南アジアでも賃金が上がり、それほど日本と変わらなくなった。そうすると、一番大切な要素は『品質』となり、日本の技術の優位性がぐーんと高まり国内で造ることになる。次に国内にいくつかの工場があれば、国内地域間の競争になり一番よい工場で生産するようになるが、中津工場はどこの地域にも勝る。」要は働く人の技術が高く、能力が高いと企業進出の大きな誘因力となることが示されています。

ところで、その能力には技術力もありますが、職場の5S、すなわち「整理」、「整頓」、「清掃」、「清潔」、「しつけ」も大いに関係あるようです。例えば、油を扱う工場の手洗い場を見ると、工場の品質管理がわかると言います。優れた工場では、いつもきれいに掃除されており、また、水道の蛇口の向きは常にそろっているそうです。行政も業種は違うと言うものの、一流のモノづくり企業の現場を訪問するとその片付け様や改善活動は見倣うものがあります。

「5Sは日本人の真骨頂で日本企業の強さ。中津の人はその中でも優れている。」と同社長の言です。今年度、既存の立地企業が8つ増設を行いました。経済の動きが活発化していること、また、企業立地の支援を強めたこともあるでしょうが、きっと、メイドイン中津



の製品の品質がよく、それが中津人の能力の高さの証でないかと思っています。自信を持ってこれからとも中津の強みを押し出し企業誘致と地場企業の振興に努めていきます。

それにしても、机の上の書類の山。まずは私もしっかり片付けることにします。